

2016年10月号

特集：バイオイメージング

バイオイメージングは、昨年のノーベル化学賞の超解像イメージングでさらに注目されている。近年、リアルタイムイメージング、超高速計測、カラーイメージング、さらに細胞内の温度イメージングが提案されている。一方、天文技術の生体イメージングへの応用の例に示される分野融合も起こっている。今回の特集では、バイオイメージングの最新の技術動向に焦点をあてる。

No.	タイトル	執筆者
1	特集のポイント	OplusE編集部
2	超高速イメージングで生命科学	東京大学
3	町解像の理論（物質との相互作用によって解像限界が決まる）	ニコン
4	すばる望遠鏡レーザーガイド星補償光学と生体イメージングへの応用	大阪府立大学
5	蛍光寿命測定による細胞内温度分布イメージング	国立天文台
6	デジタルホログラフィック顕微鏡によるライブイメージング	神戸大学
7	多色・超解像・高速共焦点顕微鏡システム	理化学研究所
8	MRIでマウス生体内の免疫細胞の動きを視る	大阪大学

※特集予定は都合により変更になる場合があります。詳細は営業担当にお尋ねください。

発行日：2016年9月25日  
 申込締切：2016年8月19日  
 原稿締切：2016年8月30日